

1. はじめに

現在、青空文庫には、たくさんの文学作品が公開されています。「文学探訪」は、気軽に文学作品を楽しめる新しい読書のかたちを実現し、あなたをぴったりの作品まで案内します。“文学の世界を旅する”をコンセプトに開発しました。

2. システムの概要

文学探訪は、カーナビのようにあなたを目的の作品まで導く文学ナビ、文学の世界を移動するハンドル型デバイス、文学ナビを起動するライセンスキー、文学作品を映し出す文学ディスプレイから成ります。これらのデバイスを通して、旅をしている気分で本が読めるシステムです。

文学ナビは、タッチパネルなので操作が簡単です。

ハンドル型デバイスは、アクセルやハンドルを使ってあなたのペースに合わせた読書が可能です。

ライセンスキーは、ユーザごとに用意され、個人認証を行います。

文学ディスプレイは、作品から作品への地図や作品の文章を表示します。

個人で文学を楽しむだけでなく、多くの人と情報を共有するための文庫サーバも用意しています。

図1に本システムの構成を示します。

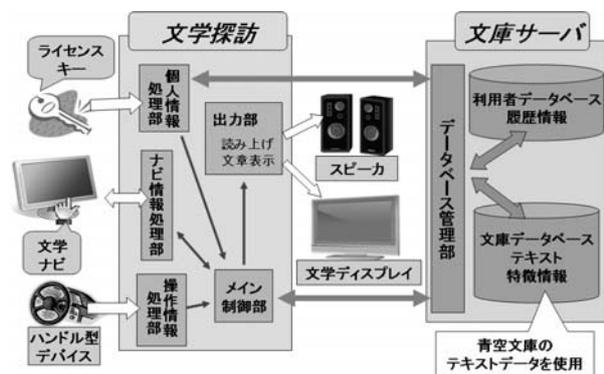


図1 システム構成

3. システムの機能

3.1 文学ナビ

タッチパネル操作で著者や作品のタイトルからだけ

でなく、作品の舞台や主人公の性別などからも検索できます。また、楽しい、勇気、驚きなど作品に含まれる感情によって作品を絞り込むことができます(図2 a)。

3.2 ハンドル型デバイス

ハンドルをきると画面がスクロールし、アクセルでスクロールのスピードを調節できます。また、マップ画面では仮想の地図上をドライブできます。

3.3 文学ディスプレイ

作品の文章をルビや挿絵付きで表示します。また、合成音声による自動朗読機能、BGM機能、しおり機能もあります。さらに、文章中の分からない語句は辞書機能により調べることができます(図2 b)。

3.4 文庫サーバ

Webブラウザから文庫サーバにアクセスして、作品のレビューや印象を閲覧することができます。また、自分が今までに読んだ作品のレビューや印象を投稿することもできます。これらの情報は文学ナビの検索に使われます。

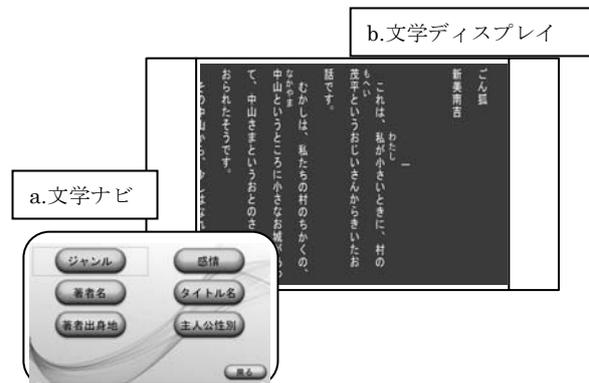


図2 システム実行画面

4. おわりに

青空文庫を手軽に読むことのできるシステム「文学探訪」を使えば、あなたに合った文学作品にきっと巡り合うことができます。

図書館はもちろん、学校や福祉施設など文学探訪が活躍する場は数多くあります。活字離れが深刻な問題となっている今日、本システムがこの問題を解決する糸口になると信じています。